



2026年度JICA北海道
教師海外研修
募集要項

環境先進国から学ぶ、
さぁ、世界一贅沢な授業づくりの旅へ！
次世代教育のヒント

北海道教員
10名
募集！

COSTA RICA
コスタリカ



●海外研修内容

学校訪問



児童／生徒／教員との
交流・インタビュー

地域交流



地域住民との交流・
インタビュー

JICA事業視察



JICAプロジェクト現場視察
JICA海外協力隊現場視察

●応募方法

❶エントリーフォームにて、必要事項を入力。
❷所定の用紙に必要事項を記入の上「申し込み・問い合わせ先」(P4参照)宛てに
エントリーフォームで選択した提出方法でお申込みください。
※申込未達等のご連絡は❶に記載いただいた連絡先に差し上げますので、必ず❶の入力を済ませた上で❷にお申込ください。

申込締切：2026年5月13日(水)12:00必着(2026年5月15日1次選考結果通知予定)

【選考の流れ】WEBエントリー➡書類提出➡1次選考(書類審査)➡2次選考(面接)➡合否通知

主催：独立行政法人国際協力機構(JICA)　担当機関：JICA北海道(札幌／帯広)
後援：外務省／文部科学省／北海道教育委員会／札幌市教育委員会

訪問国コスタリカの基本情報



●国名：コスタリカ共和国　●首都：サンホセ（標高1,200m）
●言語：スペイン語　●宗教：カトリック教（国教、但し信教の自由あり）
●民族：ヨーロッパ系および先住民との混血が多数、中南米系（ニカラグア系、コロンビア系、ベネズエラ系）、ジャマイカ系、先住民系、ユダヤ系、中国系
●面積：51,100平方キロメートル（九州と四国を合わせた面積）
●人口：521万人（2023年　世界銀行データ参照）
※2025年2月4日　外務省データ参照



1： 研修のねらい

①本研修は、実際に開発途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで開発途上国と北海道の繋がりやSDGsについて理解を深め、『参加型・対話型』の授業づくりを行うことをねらいとしています。
②研修参加者同士の意見交換や知見の共有を通して、研修後も継続してJICA北海道(札幌/帯広)と協力し、教育現場においてさらなる①の推進を図っていただくことも目的としています。
③参加者は、事前・事後の国内研修と、開発途上国への海外研修を通じて、現地で得られる情報・素材を活用した『参加型・対話型』の授業案の作成とその実践を行っていただきます。
④広く教育関係者へ開発教育/国際理解教育の重要性を発信するために、授業や指導案を紹介する「成果報告会」を実施します。



2： 参加資格

① 北海道内の国立/私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校に勤務する教員で教科または教科外の教育活動で国際理解教育を実践中であり、今後も学校内外において継続的に実践する意思がある方、または現在実践はしていないが、今後JICAと連携・協力しながら開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲がある方。　※今後、長く教育現場で実践できる方が望ましい

② 所属する学校長からの推薦がある方

③ 開発途上国での海外研修に耐えうる健康状態の方

④ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外現地研修及び国内で実施される事前・事後研修、成果報告会の全日程【3.説明会・面接・研修日程(予定)参照】に参加可能、かつ積極的に取り組める方

⑤ 帰国後、2026年10月末までに本研修で作成した指導案に基づき、勤務校等にて『参加型・対話型』の授業実践ができる方

⑥ 必要提出物をJICAが設定する期限までに提出できる方

⑦ 研修報告書及び授業実践報告、研修中(事前・事後を含む)や、勤務校等での実践授業の様子を撮影した写真/映像をJICA事業広報のために使用することを在籍校からの許諾をいただける方（ただし、許諾をいただいた場合でも、児童・生徒の個人情報や個人を特定できる画像の使用はないよう、十分配慮させていただきます。）

⑧ 原則として、過去にJICA教師海外研修、JICA海外協力隊、JICA専門家、ODA民間モニター、国際協力レポーター等、 外務省やJICAから海外に派遣された経験のない方　※教師国内研修参加者については応募可

⑨ 将来的にJICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能な方

⑩ 連絡可能なメールアドレスを所有し(携帯メール不可)、JICAが管理するSNSやメーリングリストに登録可能な方
※研修に係る情報共有や帰国後のネットワーク等にて活用

3：説明会・面接・研修日程(予定)

研修事項	場所	日程	内容
全国合同 募集説明会	オンライン	2026年 4月22日(水) 19:00-20:00	◆JICA本部が行う募集説明会 詳しくはこちらのQRコードから→
二次選考 面接日	オンライン ※応募用紙に 希望日を記載	①5/20(水)17:00-17:25 ②5/20(水)17:30-17:55 ③5/20(水)18:00-18:25 ④5/21(木)17:00-17:25 ⑤5/21(木)17:30-17:55 ⑥5/21(木)18:00-18:25 ⑦5/22(金)17:00-17:25 ⑧5/22(金)17:30-17:55 ⑨5/22(金)18:00-18:25 ⑩5/23(土)10:00-10:25 ⑪5/23(土)10:30-10:55 ⑫5/23(土)11:00-11:25 ⑬5/23(土)11:30-11:55 ⑭5/23(土)13:00-13:25 ⑮5/23(土)13:30-13:55	
JICA北海道 合格者向け オリエン テーション	オンライン	2026年 6月10日(水) 17:30-18:30	◆スタッフ紹介 ◆参加者自己紹介 ◆研修にかかるJICA規定の説明
全国合同 事前研修	オンライン	2026年 6月17日(水) 19:00-20:00	◆JICA事業・ODA概要 ◆教師海外研修概要・研修目的 ◆開発教育/国際理解教育概要 ◆安全対策について ◆海外旅行保険について
第一次事前 研修	JICA北海道 （帯広）	2026年 6月20日(土)、 6月21日(日)	◆教師海外研修参加者チームビルディング ◆訪問国事情 ◆研修日程についての説明 ◆海外研修を踏まえた指導案作成・授業実践について
第二次事前 研修	JICA北海道 （札幌）	2026年 7月11日(土)、 12日(日)	◆旅程確認、現地での活動準備、渡航手続き等 ◆国際理解教育セミナー【実践編】 ◆『参加型授業』のつくりかたについて
海外研修	コスタリカ	2026年7月25日(土)- 8月4日(火) (国内外移動含む)	◆学校訪問、児童/生徒/教員・地域住民との交流や インタビュー、JICA海外協力隊活動視察、 JICAプロジェクト現場視察、NGO活動現場視察等
事後研修	JICA北海道 （帯広）	2026年 9月5日(土)、 6日(日)	◆指導案検討会 ◆研修参加者は指導案を作成、他の研修参加者 および関係者と指導案を共有、意見交換
授業実践	各所属校	2026年9月上旬- 10月末	◆各所属校にて授業実践 ◆アドバイザー・スタッフによる授業モニタリング
成果報告会	JICA北海道 （札幌）	2026年 12月12日(土)、 13日(日)	◆成果報告会を一般公開し、研修参加者の研修報告 および授業実践報告 ◆国際理解教育セミナー【共有編】
成果品の提出		2027年1月末	◆研修参加者の海外研修報告書および指導案を基に成 果品として実践報告集を作成し、関係者に配布 (電子版および簡易製本版)

4：参加費用

個人負担経費	JICA負担経費
◆食費（国内研修および海外研修） ◆海外研修時の現地宿泊費 （１泊100米ドル程度を予定） ◆一般旅券取得費用 ◆予防接種代（必要な場合） ◆追加保険の加入費用等（希望がある場合）	◆事前/事後研修時等の参加者の交通費および宿泊費（JICA旅費規程に基づく） ◆海外研修時の空港までの国内交通費 ◆航空券代（トランジットの際の宿泊費を含む） ◆査証・ESTA取得料、空港使用税 ◆海外研修国で現地視察に必要な交通費及び入場料 ◆海外旅行保険

5：その他、注意事項

◆本研修には、ツアーコーディネーターは同行しないことから、ご自身で情報収集をしていただく必要があります。
◆参加者の研修中の扱い(年休/研修等)については、所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
◆本研修では、JICAにおける労災保険等の適応はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償処置を行ってください。
◆研修の参加者として選考された後においても、JICAの指示に従わない方、他の参加者へ迷惑をかける方、研修プログラムに参加できない方、期日までに提出物の提出ができない方については、国内外での研修期間を問わず、研修参加者としての資格を失うことがあります。資格を失った場合、それまでにかかった費用負担については、ご自身でご負担していただくこともあります。
◆海外研修中に事故が起こった場合、海外旅行保険の範囲内において補償します(国内での研修は除く)。
◆研修実施国の諸事情により、予定していた研修プログラムが変更になる可能性があります。
◆本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・ご活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合があります。その際、教育活動場面の画像等を使用する可能性があるため、必要に応じて在籍校に使用許諾についてご相談いただきますようお願いいたします。
◆応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程(個人情報保護に関する実施細則)に基づき、適切に管理いたします。
◆JICAの開発教育/国際理解教育及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組について、後日アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いいたします。

6：申し込み・問い合わせ先

〒003-0026　北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25　JICA北海道(札幌)内
一般社団法人　多文化教育サポート　　教師海外研修担当　(JICA業務委託先)
TEL：011-866-1515 FAX：011-866-1516　Email：jicahkic_hiroba@jica.go.jp

教師海外研修って？

開発教育や国際協力に関わる講義、ワークショップ、フィールドワークを中心とした研修プログラムです。国際協力の現場を訪問し、様々な「人」と出会い、帰国後はその経験をもとに「生徒が主体的に考え学べる」授業づくりを行い、自身の学校で実践までを行います。

報告会までの流れ



①海外研修に向けた準備
「開発教育」や「参加型授業」について、基礎から講座を実施します。また、過去参加者との交流を通して、海外での取材の方法や授業づくりのコツなども学びます！





②海外研修
「開発途上国」を知るために現地を視察し、JICAや関係機関がどのような取り組みをしているか学びます。現地の方との交流や学校訪問もあり、五感をフルに使って沢山の気づきを得ます！



③授業実践に向けた準備
事後研修では、訪問国で得た体験や資料をもとに授業づくりを行います。児童・生徒が主体的に考え学ぶにはどのような指導案が良いのか、参加者やアドバイザーと相談 しながら進めていきます！



④授業実践
国内外での研修を通じて作成した指導案に基づき、各所属校において授業実践を行い、指導案の更なる改善を図ります。

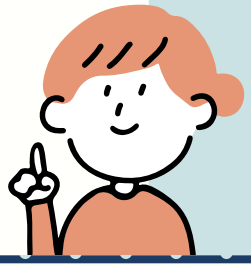


⑤成果報告会
国内外での研修、授業実践を行った成果を教育関係者や一般の市民を対象に報告会を行います。



こんな人にオススメ！

- 地球市民への視点を広げて授業づくりをしていきたい方
- 地域の特性や強みについて、児童生徒たちと一緒に考えていきたい方
- 探求学習を向上させたい方
- 参加型授業づくりについて学び、実践したい方
- 地域、教科、校種を超えた仲間づくりをしたい方



過去参加者の声

現地で活躍するJICA海外協力隊員とお話をして、自分の人生を見つめなおす機会になりました。





参加者同士がお互いにアイディアを出し合うことで、自分の指導に対する考えを深めることができた。

多くの刺激と気付きを得て、大きく成長することができました。教師海外研修を通してたくさんの先生方、JICAのみなさんと出会えたことが本当に宝物となりました。

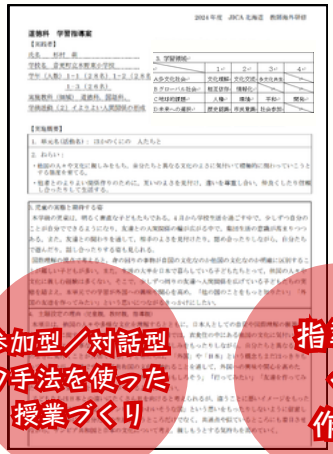


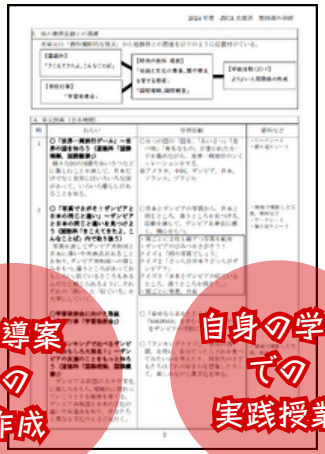
教師海外研修の体験をもっと知りたい！という方はぜひ国際理解教育セミナーへお越しください！

研修のゴール

海外研修で体感したことをもとに、
生徒に伝えたいことを教材化します。

過去参加者指導案はこちら





参加型／対話型の手法を使った授業づくり

指導案の作成

自身の学校での実践授業

EVENT

国際理解教育セミナー 入門編

5月９日(土)開催！

- SDGs教材ワークショップ
- 教師海外研修体験談　他

詳しくはこちら



Think Globally, Act Locally



2025年度教師海外研修モンゴル参加者・アドバイザー